



第318号

一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会 会報

静臨技ニュース

発行所 / (一社) 静臨技渉外広報部 〒422-8062 静岡市駿河区稲川1-1-15 ヴィラセーユー稲川207

TEL.054(287)6337 FAX.054(287)4113

発行者 / 山口 浩司 編集責任者 / 菌田 明広 発行日 / 平成28年9月1日 印刷所 / 小林クリエイト(株)

9月号の内容



- ◆ 検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会報告 …… 1～5
- ◆ ホームページリニューアル …… 6
- ◆ 研修会終了報告 …… 7～8
- ◆ 研修会・講習会案内研修会・講習会案内 …… 9～14
- ◆ 平成28年9月・10月・11月行事予定 …… 15
- ◆ 会員の異動 …… 16

★検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会 全3回終了！！

平成26年1月から毎年一回、全3回の開催で行われた日臨技、静臨技主催「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会」も、7月東部開催を最後に無事完了することができました。若手からベテ

ランまで多く

の熱心な会員

の皆様の参加で大盛況な講習会だったかと思

います。
企画運営を担当していただきました臨床検査総合部門の弘島部門長をはじめとした委員の皆様には本当に感謝申し上げます。日臨技との共催による大企画ということで大役お疲れ様でした。



「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会」を終えて

臨床検査総合部門 部門長

浜松市リハビリテーション病院 弘島 大輔

2014年度は静岡県立総合病院、2015年度は遠州病院、そして過日7月23、24日 沼津市立病院と、できる限り県全域から参加していただこうと中部、西部、東部で本講習会を開催しました。全国統一カリキュラムのもと3年間で静岡県技師会員の約1割に当たる156名の方々に受講していただきました。

2025年がすぐそこまで迫り、医療や介護など今後の社会保障制度が検討されている中で、検査説



明・相談、検体採取業務、病棟臨床検査技師、在宅医療への貢献など、私たちに求められているもの、私たちがすべきこともここ数年で大きく様変わりしていることを強く感じます。

臨床検査技師に

よる検査説明は、検査相談コーナーなど特定の状況だけでなく、採血や生理検査など日常業務で患者さんと接するすべての機会が必要になります。加えて検体採取、病棟・在宅での業務においても検査説明のスキルは必要不可欠なものであり、基礎となるものだと思います。

今回の講習会では検査説明の模擬演習のほか、患者心理や接遇など患者さんと関わるための基本的なスキルを学んでいただけたと思います。患者さんの声に耳を傾け、気持ちに寄り添う姿勢の大切さを理解していただけたのではないのでしょうか。この講習会への参加を通じて、何かひとつでも患者さんやスタッフとの関わりに変化があったのであれば、私をはじめ総合部門の部門員にとっても何よりの励みになります。そしてまた、受講された皆さんにはぜひ、職場スタッフの意識改革や接遇向上の啓発に努めていただければと思います。

業務拡大、チーム医療（他職種連携）の推進に向け、活発に活動しているのは私たち臨床検査技師だけではありません。環境の変化に柔軟に対応し、実行に移していくことがますます重要になると考えます。今後も総合部門として幅広い分野で学術活動を行い、皆さんと一緒にステキな“臨床”検査技師を目指していきたいと思っています。

講習に参加して、「検査説明・相談のできる臨床検査技師」を目指すことはチーム医療への参画や臨床・患者様に貢献できることだと再確認しました。患者心理の講義では患者様とのコミュニケーションのポイントがワークを通じて確認する事が重要で、日常業務でも活かせる内容でした。また、実際に検査相談室を開設している病院の話を聞いて、臨床検査技師個人の高いコミュニケーション能力とデータ解析力などが必要だと感じ、普段からコミュニケーションや検査値をより意識して日常業務に取り組んでいこうと思いました。

講習会では患者心理や接遇、RCPCなどが行われました。RCPCでは、普段の検査データからこんなにもたくさんの情報が得られるのかと感動し、患者病態を考えるとということが実におもしろいと思いました。また、検査説明のロールプレイを行って、いつも分析ばかりしている私にとっては、患者さんと話すという行為が新鮮でとても楽しく感じました。

講習会を受講するまで、検査説明・相談に対して、難しそう・大変そうといったマイナスのイメージばかり強く持っていましたが、受講してみて楽しそう・私でもなんとか出来そうといったプラスのイメージを持つことが出来ました。今後検査説明・相談に関する知識・技術を向上し、いろいろな場面で活かせるようになりたいと思います。

良質な医療サービスが望まれる中、患者さんと接する機会が少ない検査技師が患者さんへの説明の際は、検査結果の説明を如何に分かり易く表現していくかが求められ、尚且つ患者さんからの質問等の他のニーズに対してもきちんと対応できる必要があります。それには技師としての知識・技術・品質の向上は基より、接遇の向上も不可欠だと感じました。

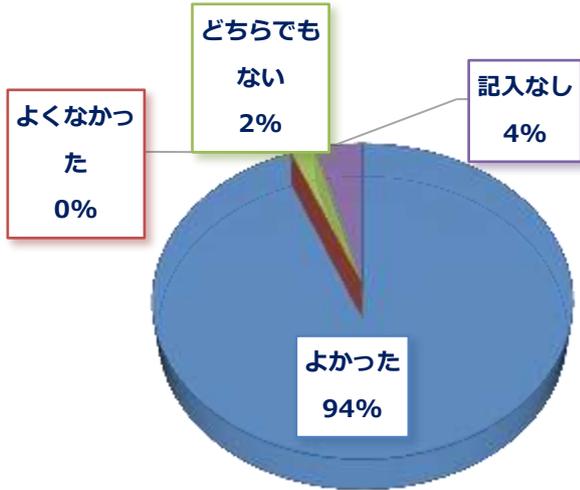
また、現場のチーム医療では患者さんを中心とした横の繋がりを大切に、検査結果を患者さんに還元し患者さんが納得のいく医療が受けられるようコミュニケーションが取れるようにしなければと思いました。

今後は、この講習会で得たことを業務の中で活かしていきたいと思っています。

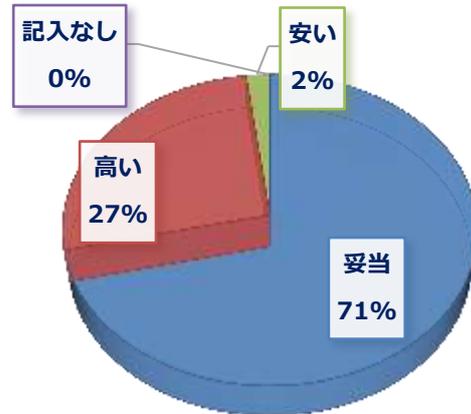
この講習会では検査説明・相談を行う上で必要な検査データの読み方等 RCPCを通して知識を深めることができました。また接遇研修や患者の心理を知ることによってどうやって患者と向き合い、接していくのかこれからの技師に必要なスキルを学ぶことができました。実際に私の施設で実施できるのは人員の確保や技師のレベルアップ向上等、課題が多いと思われませんが、積極的にチーム医療に参加するよい機会なので一つずつ課題をクリアし、検査説明のできる環境作りを技師一人一人が意識し業務に携わっていく必要があると感じました。

受講者アンケート結果

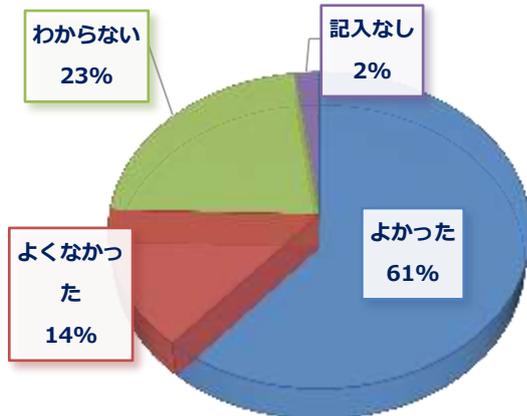
講習を受けてどうでしたか？



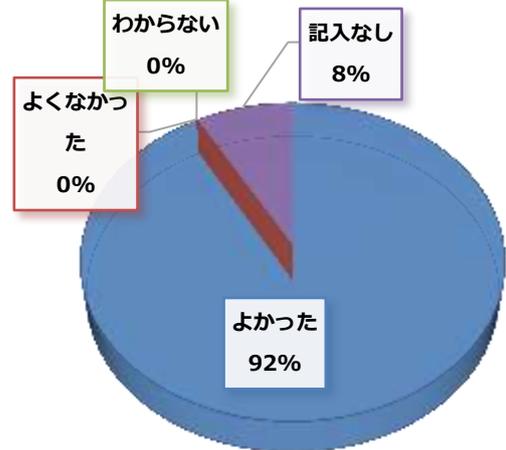
受講料はどうでしたか？



ビデオ講義形式はどうでしたか？

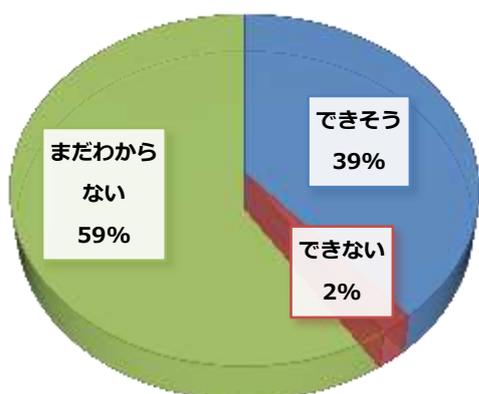


ロールプレイ体験はどうでしたか？

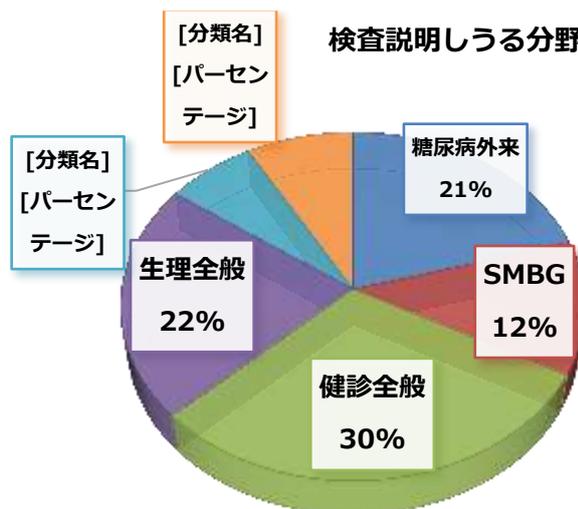


単位 (人)	とてもよかったです	よかったです	普通だった	ものたりなかった	よくなかった	記入なし
取り組む意義 (ビデオ)	8	20	19	1	1	0
期待するもの (ビデオ)	6	18	21	4	0	0
患者心理	27	18	4	0	0	0
R-CPC	24	18	7	0	0	0
検査説明の実際	26	16	5	1	0	1
接遇の基本	31	16	2	0	0	0
看護師の患者接遇	17	20	9	3	0	0
実践から学ぶ	33	12	3	1	0	0
検査説明模擬演習	36	10	1	0	0	2

今後検査説明相談ができそうですか？



検査説明する分野は？



講習会への感想・意見・要望

・ チーム医療がどういうものか実感できて有意義だった
・ 「検査説明」が“未知のもの”から“やりがいのある業務”に印象が変わった
・ 当たり前のことを当たり前に行えることが重要だと再認識した
・ 模擬演習のパターンをもっと増やしてもよいと思う
・ 基本からはじまり、実践へ繋げる内容で良かった
・ ビデオの音声聞き取りにくかった
・ 模擬演習がとてもいい体験になった
・ R-CPC はもう少し時間が欲しかった
・ 接遇などできそうなことはすぐに取組みたい
・ 講習を受け、実際に検査説明をしたいと思った

検査説明のための今後の課題は？

・ 説明内容の範囲の決定	・ マニュアルの作成
・ 担当者の選定	・ 教育システムづくり
・ 自分たちの意識改革	・ 医師の理解
・ 接遇、コミュニケーション力の向上	・ 病態に関する知識
・ 病院内のシステム構築	・ 人員、場所の確保
・ 幅広く知識を整理しておく必要がある	
・ 薬学の知識も必要だと感じた	
・ 職場内の理解	

静臨技のホームページがリニューアルされます

10月1日に静臨技ホームページをリニューアルする予定です。以下に画面のイメージ図を載せました。

ぐんと思やすくなると思いますのでみなさん覗いてみてください。

若手ホームページ委員（理事）が頑張ってデザインしてくれています。今後、ご要望等、お気づきの点がありましたらお寄せ下さい。

The screenshot shows the homepage of the Shizuoka Prefecture Clinical Health Inspection Technicians Association (静臨技). The header includes the organization's name and navigation tabs: お知らせ (Notice), 会員の皆様へ (To Members), 静臨技の活動報告 (Activity Report), 静臨技について (About Us), and 臨床検査技師になりたい方へ (For Those Who Want to Become Clinical Technicians). The main content area features a large banner image of a bridge and a torii gate. Below this, there is a section for members with various service buttons: 研修会講演会等のご案内 (Seminar/Conference Guide), 各種申請書ダウンロード (Download Forms), 学術事業 (Academic Activities), 会議議事録 (Meeting Minutes), 予算報告 (Budget Report), and 求人情報 (Job Information). A yellow box highlights a notice from the Japanese Clinical Health Inspection Technicians Association (JAMT) regarding new services: 臨床検査技師賠償責任保険 (Clinical Technicians' Professional Liability Insurance) and 新・検体採取業務 (New Specimen Collection Services), both requiring full qualification. The footer includes a section for the association's activity report and a '静臨技ニュース' (Shizurinkiki News) section.

研修会終了報告

事業名	第2回 臨床血液部門研修会
開催日	平成28年7月9日(土)
会場	グランシップ 10F 会議室1002
参加人数	75人
内容	<p>今回は、『末梢血液検査の基礎を確認しよう!』というテーマで研修会が開催され、県内各地より70名以上の参加者を迎え大盛況でした。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;">  </div> <div style="width: 35%;"> <p>3名の講師を招き、夜間・日当直に役立つ血と凝固検査の見方や、梢血液像の基礎的な見方と所見の取り方、さらに今年度の静岡県臨床検査精度管理調査で実施された血液像におけるその調査目的および標本観察のポイントについて講演して頂きました。</p> <p>基礎を中心としたものであり、初心者からベテランまで実際のルーチン業務にすぐにでも生かすことのできる内容であったと思います。</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div>

事業名	平成28年度 検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会
開催日	平成28年7月23日(土)～7月24日(日)
会場	沼津市立病院 2階 講堂
参加人数	49人
内容	<p>臨床検査技師が検査説明・相談を担う必要性を理解すること、患者さんの心理と関わり方について基本を学ぶことを目的に開催しました。今回は東部地区で開催し49名の参加となりました。</p> <p>患者さんの心理や接遇、検査データの読み方など多岐にわたる内容でしたが、最後の模擬演習を通じて2日間の講義をしっかりと具現化できたと思います。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 45%;">  <p>2014年度より3回にわたり本講習会を開催し、総勢156名の方々に受講いただきました。受講された方には、個人のスキルアップに終わることなく、ぜひ各施設で検査説明や患者接遇の啓発に尽力いただきたいと思います。</p> </div> </div>

事業名	平成 28 年度 第 2 回 病理細胞部門研修会
開催日	平成 28 年 8 月 6 日 (土)
会 場	静岡赤十字病院 2 号館 4 階 第 1 会議室
参加人数	41 人
内 容	<p>猛暑の中、本研修会は県内外から 41 名の参加者をもって開催されました。今回は、これから細胞検査士認定試験を受験される方々だけではなく、まだ細胞診の実務経験の浅い方々とも共に、『細胞像を見て、自分なりに観察し所見をとって選択形式で細胞診断してみる』という主旨のもと、6 名の現役細胞検査士が出題者となり 100 症例が提示されました。講師による回答解説の時間には基礎的な細胞所見の取り方をはじめ、鑑別疾患との相違点や資格試験の具体的な対策等のレクチャーが行われました。</p> <p>今後の細胞診業務に大いに役立つ内容ばかりであり、資格取得を考える受講者にとっては特に有益な情報になったのではないかと思います。本研修会が将来的に資格取得を目指す方にとって有意義なものとなれば幸いです。</p>



臨床検査関連研修会・講習会 (1)

平成 28 年 8 月 15 日までに申請を受理し承認された研修会等を、下表のとおりお知らせします。
各研修会の詳細については、別紙の【研修会案内】をご確認ください。

平成 28 年 (9) (敬称略)

<p>平成 28 年 9 月 10 日 (土) 14 : 00 ~ 17 : 00</p> <p>独立行政法人 静岡県立総合病院 6 F つつじホール講堂</p> <p>会 員 1,000 円 賛助会員 1,000 円 非会員 2,000 円</p>	<p style="text-align: center;">平成 28 年度 第 2 回 生物化学分析部門研修会</p> <p><テーマ> 尿中生化学検査・自己免疫疾患についてネットでは得られない知識を習得する。</p> <p>講演 1 「尿中電解質測定の有用性について」</p> <p>演者 ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社 山田洋一先生 14 : 00~15 : 20</p> <p>休憩 15 : 20~15 : 30</p> <p>講演 2 「自己免疫疾患と自己抗体検査について」</p> <p>演者 株式会社医学生物学研究所 諫山 拓也先生 15 : 30~17 : 00</p> <p>数年前から依頼項目が飛躍的に倍増している話題の尿中生化学検査・自己免疫疾患において、メーカーの視点、ユーザーからの問い合わせの多い観点に着目して講演して頂きます。新人技師からベテラン技師まで納得出来る内容を網羅し日常業務だけでなく緊急検査業務でも役立つと思います。院内に向けて発信するアピールポイントの機会にもなりますので是非ご参加下さい。</p> <p>県立総合病院駐車場の駐車券を無料措置しますので提出して下さい。</p> <p>事前申し込みの必要はありません。直接会場にお越しください。</p>	<p>No. (160015283) 専門-20 点</p> <p>【問い合わせ先】</p> <p>磐田市立総合病院 臨床検査技術科 春口 公哉</p> <p>TEL 0538-38-5000 (内線 2710)</p> <p>Email : iwata-seikagaku@key.ocn.ne.jp</p>
---	--	---

臨床検査関連研修会・講習会 (3)

<p>平成 28 年 10 月 1 日 (土) 14 : 30 ~ 17 : 00</p> <p>静岡市立静岡病院 1 2 F 講堂</p> <p>会 員 1,000 円 非会員 2,000 円</p>	<p style="text-align: center;">平成 28 年度 第 2 回 臨床生理部門研修会</p> <p><テーマ> 心エコー検査の ABC 14 : 00 ~ 受付 14 : 30~15 : 30 講義 1 初心者のための心エコー講座 15 : 30~15 : 40 休憩 15 : 40~16 : 40 講義 2 症例から考える～中級編～ 講師 余語 保則先生 トヨタ記念病院 臨床検査科技師長</p> <p>心エコー検査の経験年数が短い方・基礎を再確認したい方に役立つ内容です。是非ご参加ください。</p> <p>参加予約は不要です。当日直接会場にお越しください。</p>	<p>No. (160016688) 専門-20 点</p> <p style="text-align: center;">【問い合わせ先】</p> <p>聖隷沼津病院 検査科 井原 綾那</p> <p>TEL 055-952-1023 (内線 5515)</p>
<p>平成 28 年 10 月 15 日 (土) 14 : 00 ~ 17 : 00</p> <p>静岡赤十字病院 2 号館 4 階 第一会議室</p> <p>会 員 1,000 円 賛助会員 1,000 円 非会員 2,000 円</p>	<p style="text-align: center;">平成 28 年度 第 2 回 臨床微生物部門研修会</p> <p><テーマ> 耐性菌の基礎知識の習得および微生物検査の基礎から最新情報を学ぶ</p> <p>13 : 45 受付</p> <p>14 : 00~15 : 00 『耐性菌の基礎知識と検査試薬について』 関東化学(株) マイクロバイオ課 課長 金子 孝昌 先生</p> <p>15 : 00~15 : 15 休憩</p> <p>15 : 15~17 : 00 『知的微生物検査のすすめ』 東北大学病院診療技術部 検査部門 豊川 真弘 先生</p> <p>懇親会を予定しております 参加希望者は下記問い合わせ先までご連絡ください 人数に制限があります、お早めにお申し込みください (9 月 30 日締め切り)</p> <p>事前申し込み不要 当日直接会場にお越しください。</p>	<p>No. (160018017) 専門-20 点</p> <p style="text-align: center;">【問い合わせ先】</p> <p>中東遠総合医療センター 上村 桂一</p> <p>TEL 0537-22-5555 (内線 2214)</p>

臨床検査関連研修会・講習会 (4)

<p>平成 28 年 10 月 22 日 (土) 13:00 ~ 16:00</p> <p>静岡市立静岡病院 12F 講堂</p> <p>会 員 1,000 円 賛助会員 1,000 円 非会員 2,000 円</p>	<p style="text-align: center;">平成 28 年度 第 3 回 臨床血液部門研修会</p> <p><テーマ> 血液分野の基礎について自信をつけよう！</p> <p>1. 凝固検査に影響を及ぼす要因について ～採血から DOACs まで～</p> <p style="text-align: center;">アイエル・ジャパン株式会社 血液凝固学術部 阪田 敏幸 先生</p> <p>2. 骨髓像の基礎 ～ 所見用紙のレイアウトに沿った 基礎的な見方・所見のとり方 ～</p> <p style="text-align: center;">聖マリアンナ医科大学病院 臨床検査部 血液検査室 井本 清美 技師</p> <p>今回は、第一講演に凝固検査の最近の話題ということで、採血から DOACs まで、凝固検査に影響を及ぼす要因について講演いただきます。</p> <p>第二講演では骨髓像の基礎ということで、これから骨髓像を始める方や、見ているが自信がない！という方に、一般的な所見用紙の書き方をレイアウトに沿った形で講演いただきます。 新しく血液担当になられた方も是非御参加下さい。</p> <p>事前申し込み不要。当日、直接会場にお越しください。</p>	<p>No. (160014068) 専門-20 点</p> <p style="text-align: center;">【問い合わせ先】</p> <p>独立行政法人 地域医療機能推進機構 三島総合病院 大橋 勝春</p> <p style="text-align: right;">TEL 055-975-5545</p>
--	--	--

臨床検査関連研修会・講習会 (5)

<p>平成 28 年 11 月 5 日 (土) 13:00 ~ 17:00</p> <p>11 月 6 日 (日) 9:00 ~ 12:30</p> <p>〒436-0011 掛川市満水 2000 Tel: 0537-24-1111 ヤマハリゾートつま恋 コンベンションホール</p> <p>【受講料】 宿泊込(相部屋) 23,000円 宿泊込(個室) 26,000円 宿泊なし (懇親会あり) 15,000円 講義のみ 10,000円</p>	<p style="text-align: center;">中部圏支部 第 23 回 臨床微生物部門研修会</p> <p><テーマ> 「感染症治療への貢献～微生物検査室のパラダイム シフト～」</p> <p>≪1日目≫ 11月5日(土) 12:30 受付 13:00 開講式／オリエンテーション 13:10 講演1 『菊川市立総合病院における微生物検査の変遷』 講師：菊川市立総合病院 臨床検査室 西尾 弥生先生</p> <p>14:20 講演2 『筋？菌トレ』 講師：東京医科大学 微生物学教授 大楠 清文 先生</p> <p>16:00 特別講演『臨床医が求める微生物検査』 講師：兵庫医科大学 感染制御学 主任教授 竹末 芳生先生</p> <p>17:00 チェックイン 18:00 懇親会 21:00～ 夜の部 (自由討議)</p> <p>≪2日目≫ 11月06日(日) 8:30 受付 9:00 講演3 『未定』 講師：愛知県厚生連 医療事業部 医療課部長 犬塚 和久先生</p> <p>10:00 講演4 『今までの経験の中で 後世に伝えたいこと』 講師：西山 泰暢 先生</p> <p>11:10 講演5 『AmpCを中心とした耐性菌』 講師：神戸大学医学部附属病院 検査部 感染制御部 副部長 中村 竜也先生</p> <p>事前申し込みが必要となります。 詳細は平成 28 年度日臨技中部圏支部研修会「第 23 回 臨床微生物部門研修会」開催案内をご覧ください。</p>	<p>No. (160014226) 専門-30 点</p> <p>【問い合わせ先】 中東遠総合医療センター 上村 桂一 TEL 0537-22-5555 (内線 2214)</p> <p>microbio@ chutoen-hp.shizuoka.jp</p>
---	---	--

臨床検査関連研修会・講習会 (6)

<p>平成 28 年 11 月 12 日 (土) 14 : 00 ~ 17 : 00</p> <p>静岡市産学 交流センター・静岡市中 小企業支援センター B-nest (ビネスト) プレゼンテーション ルーム</p> <p>会 員 1,000 円 賛助会員 1,000 円 非会員 2,000 円</p>	<p style="text-align: center;">平成 28 年度 第 2 回 臨床一般部門研修会</p> <p><テーマ> 臨床側から見た尿検査、及び円柱についての知識更新</p> <p>13 : 30 ~ 受付開始</p> <p>14:00~15 : 00</p> <p style="text-align: center;">『尿検査の基礎と最新情報』</p> <p style="text-align: center;">シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社 POC 事業本部 宮澤 俊郎先生</p> <p>15 : 00~15 : 20 休憩</p> <p>15 : 20~16 : 40</p> <p style="text-align: center;">『硝子円柱の真事実！生成条件とその病態解析』</p> <p style="text-align: center;">藤田保健衛生大学</p> <p style="text-align: center;">医療科学部 臨床検査学科 星 雅人先生</p> <p>16 : 40~17 : 00 質疑応答</p> <p>最初は、臨床医が尿検査で臨床検査技師に求めていることを中心にシーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社の宮澤俊郎先生に、次に円柱の生成機序や各種円柱の判別について藤田保健衛生大学の星雅人先生に御講演していただきます。</p> <p>尿検査の基礎的な知識の習熟だけではなく、臨床側が尿検査に何を求めているのか興味のある方々や、円柱について知りたいことがある方など是非とも御参加ください。</p> <p>事前申し込み不要。 当日、直接会場にお越しください。</p>	<p>No. (160016576) 専門-20 点</p> <p>【問い合わせ先】</p> <p>株式会社 LSI メディエンス 浜松日赤病院 メディエンス検査室</p> <p style="text-align: right;">山村 一志</p> <p>TEL 053-584-1232</p>
---	--	--

研修会・講習会の詳細は、開催案内やホームページでご確認下さい。
台風など天災の影響により開催が危ぶまれる場合は、必ずホームページでご確認下さい。

平成28年 9月・10月・11月の行事予定

9月

1日(木)～9月4日(日)

第63回 日本臨床検査医学会学術集会

: 神戸国際会議場
神戸ポートピアホテル
神戸国際展示場

3日(土)～9月4日(日)

第65回 日本医学検査学会

: 神戸国際会議場
神戸ポートピアホテル
神戸国際展示場

10日(土) 平成28年度 第2回 生物化学分析部門研修会

: 静岡県立総合病院

12日(月) 静臨技常務理事会、理事会

: 技師会事務所

16日(金) 静岡県標準化事業 第8回 中西部地区意見交換会

: 市立島田市民病院

10月

1日(土) 平成28年度 第2回 臨床生理部門研修会

: 静岡市立静岡病院

15日(土) 平成28年度 第2回 微生物部門研修会

: 静岡赤十字病院

22日(土) 平成28年度 第3回 臨床血液部門研修会

: 静岡県立総合病院

11月

5日(土) 中部圏支部 第23回 臨床微生物部門研修会

: ヤマハリゾート つま恋

6日(日) 平成28年度 「検査と健康展」

: アピタ 静岡店

12日(土) 平成28年度 第2回 臨床一般部門研修会

: 静岡市産学交流センター

☆ 会員投稿募集 ☆

技師会では会員の皆様の原稿を募集しています。ジャンル等は問いません。

※採用された方には粗品を進呈いたします。

ご意見・ご要望・情報等もお待ちしております。

渉外広報部(編集責任者) 藺田明広まで sonoda.ghp.pref.shizuoka@gmail.com

会報8月号(抜粋カラー版)をホームページに掲載しましたので是非ご覧ください。